

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究 Close The Gap-Stroke J-ASPECT Study

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 佐野博康 (脳卒中科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2026年3月31日

目的：本邦の脳卒中診療における大規模データベースを活用し、脳卒中を含む循環器病の医療の質を包括的に評価する

研究方法：DPCデータ、レセプトデータ (医療保険のデータ) 及びカルテ記録を使用します。研究組織で策定した臨床指標を用いて、測定結果と取得した情報の関係性を分析し、脳卒中のアウトカム (死亡率など) に対する影響を明らかにします。

■ 対象となる患者さん

脳卒中で当院に入院され2013年1月～2020年3月までに退院された患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：脳卒中の診断・治療に関するカルテ記録等

その他、DPCデータまたはレセプトデータ (医療保険のデータ) を使用します。

■ 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、九州大学脳神経外科および国立循環器病研究センター循環器病統合情報センターにて保管し、(株)健康保険医療情報総合研究所 (PRRISM) へ対象者のレセプト情報等のデータ情報を郵送にて送付し、解析を行います。

■ 研究組織

試験全体の責任者：国立循環器病研究センター 飯原弘二

参加施設：日本脳神経外科学会の教育訓練施設、日本脳卒中学会の認定研修教育施設、日本神経学会の教育施設・准教育施設 (約300施設)

ホームページ : <https://j-aspect.jp>

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

(様式 17)

研究番号	第 17-32
------	---------

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
佐野博康・脳卒中科
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971